

第 6 4 回新発田市入札監視委員会審議概要

開催日時及び場所		令和 7 年 7 月 2 日（水）午後 3 時 3 0 分～午後 4 時 3 0 分 新発田市役所 5 階 会議室 5 0 1	
内 容		・ 議事 （１）抽出工事等の審議について （２）第 6 5 回委員会開催に伴う抽出委員の指定について （３）その他	
委 員 (委員数 5 名) (出席数 5 名)		委員長 若槻 直大 (弁護士) (出席) 委員 宮村 茂 (税理士) (出席) 委員 丸畠 宏太 (大学教員) (出席) 委員 佐藤 恭子 (公募委員) (出席) 委員 大橋 京子 (公募委員) (出席)	
審議対象期間		令和 7 年 1 月 1 日～令和 7 年 4 月 3 0 日	
抽出案件		9 件 (対象工事総件数 9 件)	
	制限付 一般競争入札	9 件	・ 下補創第 6 号 新発田北部処理分区 (h 6 8) 管渠工事 ・ 道新債第 1 号 五十公野公園荒町 1 号線改良工事 ・ 舗新債第 1 号 西用水道線舗装工事 ・ 道新債第 2 号 荒川瑞波線改良工事 ・ 受託第 1 9 号 加治川有機資源センター たい肥ペレット製造工場受変電設備増設工事 ・ 道新第 1 号 切梅和合線改良工事 ・ 教受繰第 1 号 新発田市立本丸中学校 長寿命化改良工事 (中棟 建築) ・ 地観受繰第 1 号 月岡温泉景観整備工事 ・ 改整第 1 0 号 配水管改造 6 - 1 0 工区 (開削) 工事
	公募型 指名競争入札	0 件	
	通常 指名競争入札	0 件	

	随意契約	0 件	
委員からの意見・質問、 それに対する回答		別紙のとおり	
委員会による意見の具 申内容		特になし	
その他		傍聴者 3 名	

意 見 ・ 質 問	回 答
1 開会 2 議事 (1) 抽出工事等の審議について ①第3 三半期の契約等の状況 契約状況について質疑なし。 ②一般競争入札案件 ・ 審議案件の抽出理由について 第3 三半期の契約の工事件数が少ないため、全案件を審議対象とした。 ・ 地観受繰第1号 月岡温泉景観整備工事の舗装工事について、障害者にとって少しの段差でも転倒のリスクがあるがどのような工事か。また、この工事をする事で路面は滑りやすくなるのか。 ・ 教受繰第1号 新発田市立本丸中学校長寿命化改良工事（中棟 建築）について、生徒や授業等への影響はないか。 ・ 舗新債第1号 西用水道線舗装工事について、入札参加者の全てで同価につきくじ引きとなっているが有り得るのか。 ・ 入札額の内訳の確認は契約検査課で行っているのか。	事務局から資料に基づき説明 事務局から資料に基づき説明 半たわみ性舗装工事であり、舗装をかけた後に石畳風の切れ込みを入れる工事のため、段差のないバリアフリー対応となっている。また、滑りやすくなることもない。 今回の工事では3棟ある中の1棟を改修する工事であり、学校全体の工事ではないため影響は少ないと考えている。 舗装工事は工種が少なく比較的積算がしやすい工事である。最低制限価格＝入札額となり、舗装工事では多くがくじ引きとなっている。 開札時に内訳書の確認を行っている。

意 見 ・ 質 問	回 答
・「抽出事案説明書」の上記資格を設定した経緯・理由に「要件６は、参加者が最低１０者以上見込まれるように地域要件を設定したもの。」とあるが、地域要件を設定することで参加者が増えるという認識でよいのか。 ・地観受線第１号 月岡温泉景観整備工事の舗装工事は再入札となっている。再入札があった入札について、辞退とあるが再入札の時にはよくあるものなのか。 ・道新債第１号 五十公野公園荒町１号線改良工事について、入札公表結果調書で、入札金額が１０万円ずつずれて並んでいるところがあるが、一定の決まった金額でずれが続くような場合に、業者の見積を見て金額の傾向がわかるものか。直接的な工事費のところで金額がずれてくるものなのか。 (２) 第６５回委員会開催に伴う抽出委員の指定について (３) その他 第６５回委員会開催日程について ３ 閉会	参加者が多くなるように設定している。表現について、参加者が少なくなるように地域要件を設定していると捉えられるため、今後表現の検討を行う。 入札者すべてが予定価格を上回ったことで再入札となった案件で、辞退の理由はお聞きしていない。会社としてこれ以上下げると工事ができないということで辞退されるのではないかと考える。入札の辞退の中でも再入札の時の辞退が多いようである。 入札の際に提出された内訳書の確認を行っている。たまたま今回１０万円ずつというふうになっているが、それぞれの会社が設計した金額（内訳書）とそのトータルの金額（入札額）としては、一致している。直接工事費や経費でも各社それぞれ金額が違っている部分がある。 第６５回委員会の抽出は、若槻委員とする。 第６５回委員会は、令和７年１０月２２日に開催する。